

2018 年度 事業報告書

自 2018 年 4 月 1 日
至 2019 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

2018 年度事業報告

I. 会員登録状況

1. ライセンス会員数 各年度最終 3 月 31 日

		2015 年	2016 年	2017 年	2018 年度	2018 年度計画	前年比	達成率
会員数	競技会員	15,086	14,590	14,991	14,555	15,000	97%	97%
	エンジョイ会員	3,009	2,988	2,756	2,756	3,000	100%	91.9%

2. 各種目のライセンス発行枚数（最終 3 月 31 日）

1) ロードレース **5,377 枚**（昨年 5,555 枚）前年対比 **97%**

種目	区分	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
ロードレース	国際	837	840	826	873	879	101%
	国内	3,327	3,470	3,428	3,418	3,261	95%
	フレッシュマン	1,351	1,390	1,255	1,222	1,194	98%
	ジュニア	52	43	41	42	43	102%
	計	5,567	5,743	5,550	5,555	5,377	97%

2) モトクロス **1,535 枚**（昨年 1,665 枚）前年対比 **92%**

種目	区分	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
モトクロス	国際 A 級	165	161	153	155	151	97%
	国際 B 級	387	366	347	350	324	93%
	国内 A 級	266	252	247	238	237	100%
	国内 B 級	552	537	519	534	494	93%
	ジュニア	371	375	334	347	288	83%
	PC	37	32	42	41	41	100%
	計	1,778	1,723	1,642	1,665	1,535	92%

3) トライアル **1,424 枚**（昨年 1,436 枚）前年対比 **99%**

種目	区分	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
トライアル	国際 A 級	143	146	144	149	153	103%
	国際 B 級	365	373	374	380	389	102%
	国内 A 級	370	345	322	312	295	95%
	国内 B 級	558	577	556	584	582	100%
	ジュニア	5	9	5	11	5	45%
	計	1,441	1,450	1,401	1,436	1,424	99%

4) スノーモビル **129 枚** (前年 133 枚) 前年対比 **97%**

種目	区分	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
スノーモビル	A 級	75	79	71	66	58	88%
	B 級	86	68	72	58	56	97%
	ジュニア	16	12	12	9	15	167%
	計	177	159	155	133	129	97%

5) スーパーモト **313 枚** (前年 347 枚) 前年対比 **90%**

種目	区分	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
スーパーモト	A 級	213	213	205	217	200	92%
	B 級	130	112	128	130	113	87%
	計	343	325	333	347	313	90%

6) インデューロ **526 枚** (前年 533 枚) 前年対比 **99%**

種目	区分	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
インデューロ	国際 A 級				57	60	105%
	国際 B 級	97	132	154	113	114	101%
	国内 A 級				57	52	91%
	国内 B 級	198	262	276	306	300	98%
	計	295	394	430	533	526	99%

7) ピットクルー **7,927 枚** (前年 8,170 枚) 前年対比 **97%**

種目	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
ピットクルー	7,444	7,820	7,840	8,170	7,927	97%

8) 競技役員 **4,233 枚** (前年 4,328 枚) 前年対比 **98%**

種目	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	前年比
役員・講師	4,455	4,380	4,283	4,328	4,233	98%

3. 賛助会員

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	前年比
法人会員	59 件 (60 口)	48 件 (52 口)	53 件 (55 口)	51 件 (52 口)	55 件 (55 口)	108%
個人会員	1 件 (1 口)	1 件 (1 口)	0 件	0 件	0 件	

4. 年間プレス登録者

	ランク	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	前年比
プレス	A	70	78	74	79	107%
	B	18	15	23	25	109%
	合計	88	93	97	104	107%

Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

1. MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

競技会申請数は公認競技会 424 大会（前年比 90%）承認競技会 88 大会（前年比 105%）合計 512 大会で申請数は前年比 96%。

地区	公認									承認								合計		
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	ミニバイク	MX	TR	SN	ED	行事	承認計	申請数	中止計	開催数
北海道	5	8	8	3	0	7	9	0	40	0	1	0	0	0	0	1	2	42	1	41
東北	5	11	17	1	2	2	17	1	56	2	8	1	6	0	6	0	23	79	3	76
関東	13	16	19	1	2	4	32	3	90	7	2	8	5	0	3	2	27	115	3	112
中部	9	9	13	0	2	6	33	1	73	9	4	0	9	0	1	0	23	95	3	92
近畿	0	8	10	0	2	0	14	0	34	0	0	0	2	0	1	0	3	37	2	35
中国	9	11	16	0	2	4	11	0	53	0	0	0	2	0	1	2	5	58	5	53
四国	0	7	9	0	0	0	3	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19	3	16
九州	9	8	10	0	2	4	24	2	59	4	0	0	1	0	0	0	5	62	5	57
合計	50	78	102	5	12	25	142	7	424	22	15	8	25	0	11	5	88	507	25	512
前年比	102%	100%	102%	100%	92%	93%	72%	233%	90%	85%	107%	200%	96%		92%	250%	105%	91%	96%	96%
2017	49	78	100	5	13	27	198	3	473	26	14	4	26	0	12	2	84	557	26	531
2016	49	73	100	5	13	27	190	10	467	23	14	5	27	0	16	5	90	559	40	519
2015	44	75	106	5	13	26	171	11	451	24	17	1	30	0	21	0	93	545	24	521
2014	43	84	102	5	15	18	134	23	424	21	18	4	25	0	6	1	77	501	17	484
2013	45	89	104	5	19	14	131	16	423	16	27	15	25	1	10	1	95	518	19	499
2012	43	93	106	6	23	15	125	13	436	18	33	15	22	1	13	5	109	545	14	531

2. 競技会開催状況

1) ロードレース

(1) 世界選手権/特別競技会

（世界選手権はスポーツ庁・観光庁後援事業）

格式	開催日	大会名	観客数						前年比
			2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
世界選手権	7月26日～29日	鈴鹿8時間耐久ロードレース	109,000	111,000	121,000	124,000	128,000	111,000	87%
	10月19日～21日	MotoGP 日本グランプリ	61,097	70,271	85,403	88,472	89,501	96,425	108%
アジア選手権	6月1日～ 3日	鈴鹿大会	19,000	18,100	12,000	17,700	19,000	21,000	111%

(2) 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀克行選手(JSB1000 ヲノノ)が獲得。全戦スポーツ庁・観光庁後援事業・全戦FIM公認国際競技会

※GP3は今年より若手育成目的で国内ライセンス所持者の参加を可能とする「特別枠」を設けた。

2018 全日本ロードレース選手権シリーズ										
	開催日	会場	観客数	JSB	GP 2	ST600	GP3	全日本 計	MFJカップ JP250	総合 計
第1戦	4月7-8日	もてぎ	13,300	38	20	34	27	119	32	151
第2戦	4月21-22日	鈴鹿2&4	56,000	74				74		74
第3戦	5月12-13日	AP2&4	8,300	29				29	25	54
第4戦	6月16-17日	SUGO	6,900	32	20	32	23	107	26	133
第5戦	6月30-7月1日	筑波	9,000		19	36	30	85	30	115
第6戦	8月18-19日	もてぎ2&4	37,000	34				33		33
第7戦	9月1-2日	AP	5,550	32	20	41	23	116		116
第8戦	9月29-30日	岡山国際	中止	34	24	44	28	130	40	170
第9戦	11月3-4日	MFJ-GP 鈴鹿	27,500	29	20	33	30	112	52	164
合計			163,550	302	123	220	161	805	205	1,010
1大会平均			20,444	38	21	37	27	89	34	112
前年			18,754	42	21	34	22	88	40	115
前年対比			109%	90%	99%	108%	124%	102%	85%	98%

(3) 地方選手権 (ナショナル・インター) ・承認ロード競技会 (11月末現在)

地区	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加人数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	5	94	19	92%	6	155	26	86%
SUGO	4	177	44	123%	7	381	54	81%
筑波	4	301	75	108%	9	1,122	125	76%
もてぎ	4	344	86	97%	5	1,132	226	128%
鈴鹿	5	623	125	74%	14	1,256	90	102%
岡山	7	303	43	73%	10	428	43	75%
九州	7	275	39	129%	10	443	44	103%
2018 合計	36	2,117	59		61	4,917	81	91%
2017 合計	36	2,430	68		59	5,240	89	
2016 合計	41	2,736	67		66	6,351	96	
2015 合計	32	1,551	48		59	5,828	99	
前年比	100%	87%	86%		103%	94%	91%	

(4) 承認ミニバイク

支部	承認ミニバイク			
	大会数	参加人数		
		総人数	平均	前年比
北海道	2	44	22	46%
東北	11	361	33	97%
関東	6	629	105	14%
中部	4	102	26	102%
中国	5	259	52	173%
2018 合計	28	1395	50	
2017 合計	19	1320	69	
2016 合計	17	1,450	85	
2015 合計	20	1,619	81	
前年比	147%	106%	72%	

2) モトクロス

(1) 全日本選手権

(最終戦はスポーツ庁・観光庁後援事業)

2018 全日本モトクロス選手権シリーズ										
場所	開催日	観客数	台数	国際 B 級	国際 A 級		LMX	CX	J85	J65
				Open	IA-1	IA-2				
第 1 戦 九州	4 月 8 日	8,100	226	82	27	41	30	11	35	
第 2 戦 関東	4 月 22 日	8,500	267	77	26	42	43	14	42	23
第 3 戦 SUGO	5 月 13 日	3,700	221	75	26	42	32	10	36	
第 4 戦 中国	5 月 26 日	3,530	230	84	25	42	33	14	32	
第 5 戦 九州	6 月 10 日	5,800	205	67	23	42	27	11	36	
第 6 戦 東北	7 月 22 日	3,700	212	69	26	41	34	9	33	
第 7 戦 中国	8 月 26 日	中止								
第 8 戦 近畿	9 月 9 日	4,594	252	80	26	40	46	13	47	
第 9 戦 MFJGP	10 月 28 日	7,100	255	81	26	41	44	16	47	
合計		45,024	1,868	615	205	331	289	98	308	23
平均		5,628	234	77	26	41	36	12	39	12
前年		5,109	250	75	21	43	44	18	43	23
対比		110%	93%	102%	119%	96%	82%	69%	89%	51%

※第 7 戦中国大会は西日本豪雨の影響で中止

(2) モトクロス全国大会 (スポーツ庁・観光庁後援事業)

開催日：2018 年 8 月 5 日 (日) 総参加台数 131 台 (昨年 137 台) 開催場所：スポーツランド SUGO

年度	場所	NA2	NAOPEN	NB2	NBOPEN	J85	J65	ファイナル 50	Ladies	計
2018 年	SUGO		31	—	20	47	21	12	—	131
2017 年	GP 弘楽園		23	—	23	45	29	17	—	137
2016 年	GP 弘楽園	—	23	—	32	49	29	29	—	162
2015 年	SUGO	—	33	—	30	49	34	15	—	161
2014 年	SUGO	33	33	31	30	56	28	17	—	228
2013 年	ウズ下市	32	32	34	34	48	33	21	14	248

(3) 地方競技会 (ライセンス数は 2017 年・2018 年度とも 3 月 31 日最終)

地区	年度	2018 地方選手権モトクロス			
		ライセンス	大会数	総参加人数	平均人数
北海道	2018 年	210	8	829	104
	2017 年	219	8	928	116
	前年比	96%	100%	89%	90%
東北	2018 年	151	7	616	88
	2017 年	170	7	617	88
	前年比	89%	100%	100%	100%
関東	2018 年	431	10	1,336	134
	2017 年	470	10	1,341	134
	前年比	92%	100%	100%	100%
中部	2018 年	237	9	573	64
	2017 年	256	9	598	66
	前年比	93%	100%	96%	96%
近畿	2018 年	165	8	584	73
	2017 年	191	8	586	73
	前年比	86%	100%	100%	100%
中国	2018 年	129	8	450	56
	2017 年	133	8	451	56
	前年比	97%	100%	100%	100%
四国	2018 年	54	6	197	33
	2017 年	71	7	200	29
	前年比	76%	86%	99%	113%
九州	2018 年	158	6	420	70
	2017 年	155	6	431	72
	前年比	102%	100%	97%	97%
全体	2018 年	1,535	62	5,005	81
	2017 年	1,665	63	5,152	82
	前年比	92%	103%	96%	94%

3) トrial

(1) 世界選手権

(スポーツ庁・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	観客数							前年比
			2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	
世界選手権	6 月 1/3 日	日本 GP	11,500	15,000	16,000	18,000	14,500	16,200	18,400	114%

(2) 全日本選手権

2018 全日本トライアル選手権シリーズ										
	開催日	場所	観客数	台数	レディース	IB	IA	IA-S	OT	
第1戦	3月11日	関東	2,620	133	6	71	39	17		
第2戦	4月15日	近畿	1,150	145	6	77	43	17	2	
第3戦	5月13日	九州	1,000	101	5	45	33	16	2	
第4戦	7月15日	北海道	700	90	5	43	28	14		
第5戦	9月2日	中国	1,500	142	8	72	41	14	7	
第6戦	10月7日	中部	2,600	145	8	83	37	14	3	
第7戦	10月21日	東北	1,100	111	6	64	27	14		
			合計	10,670	867	44	455	248	106	14
			平均	1,524	124	6	65	35	15	4
			前年平均	1,582	120	5	67	41	16	2
			前年対比	96%	103%	126%	97%	86%	95%	175%

(3) 地方選手権 (ライセンス数は2017年度・2018年度とも3月31日最終)

地区	年度	2018年地方選手権トライアル			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	2018年	33	7	168	24
	2017年	41	7	177	25
	前年比	80%	100%	95%	96%
東北	2018年	136	8	684	86
	2017年	143	8	582	73
	前年比	95%	100%	118%	118%
関東	2018年	385	10	831	83
	2017年	383	8	753	94
	前年比	101%	125%	110%	88%
中部	2018年	242	9	782	87
	2017年	235	9	736	82
	前年比	103%	100%	106%	106%
近畿	2018年	232	8	589	74
	2017年	235	8	604	76
	前年比	99%	100%	98%	97%
中国	2018年	160	10	607	61
	2017年	156	10	644	64
	前年比	103%	100%	94%	95%
四国	2018年	67	7	271	39
	2017年	66	8	302	38
	前年比	102%	88%	90%	103%
九州	2018年	169	8	639	80
	2017年	177	9	620	69
	前年比	95%	89%	103%	116%
全体	2018年	1,424	67	4,571	68
	2017年	1,436	67	4,418	66
	前年比	99%	100%	103%	103%

(4) 第30回トライアルGC

開催日：2018年11月11日 場所：香川県かりんの丘公園トライアルランド

	地区	会場	GC	オーバー-50	レディース	レジェンド	人数計	地区対抗	
								チーム数	人数
2018年	四国	かりんの丘	67	7	1		75	11	33
2017年	中部	キョウセイ	66	10	4	5	85	3	9
2016年	近畿	湯浅	57	7			64	6	18
2015年	中国	灰塚ダム	48	4			52	3	15

4) スノーモビル

	地区	開催日	A			B		J	EJ	合計
			PRO	SXA1	SXA2	SXB1	OPCUP			
第1戦	長野	2月3日	14	17	5	19	3	4		62
第2戦	真狩	2月11日	13	21		17		7		58
第3戦	土別	2月19日	12	20		19	6	7		64
第4戦	美瑛	2月26日	13	19		18		7		57
第5戦	青森	3月5日	12	19		12	8	9		60
		合計	64	96	5	85	17	34	0	301
		1大会平均	13	19	5	17	6	7		61
		前年平均	15	17	19	22		7	6	111
		前年対比	87%	112%	26%	77%		100%	0%	55%

5) スーパーモト

(1) 全日本選手権

2018	開催日	場所	観客数	台数	S1 PRO	S1 OPEN	S 2	併催エリア	承認
第1戦	4月15日	茂原	600	67	15	24	6	22	
第2戦	5月20日	弘楽園	300	46	16	18	6	6	
第3戦	6月10日	エビス	200	72	16	20	44	28	
第4戦	7月8日	HSR九州	中止(西日本豪雨)						
第5戦	8月19日	SUGO	700	65	16	16	6	27	
第6戦	9月16日	名阪	500	70	20	16	9	25	
第7戦	10月14日	美浜	800	72	20	22	9	21	
第8戦	11月11日	茂原	700	72	18	21	7	27	
合計			3,800	464	121	137	87	156	
1大会平均			543	66	17	20	12	22	
前年平均			450	65	15	17	14	19	
前年対比			121%	102%	115%	115%	89%	117%	

(2) エリア選手権を下記地区で開催。

エリア	大会数	総台数	平均	前年比
東日本	4	104	26	96%
中日本	4	92	23	115%
西日本	3	34	11	92%
2018年	11	230	21	
2017年	13	260	20	
2016年	11	228	21	
2015年	12	280	23	
前年対比	85%	88%	105%	

6) インデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本					承認
				インターナショナル		ナショナル			
				A	B	NA	NB	W	
第1戦	4月15日	テゾヤス<広島>	119	23	33	18	32	5	8
第2戦	5月27日	コスモスポーツランド<中部>	101	22	24	18	29	4	4
第3戦	9月15日-16日	日高<北海道>	167	27	33	19	46	8	34
第4戦	11月24日-25日	SUGO<宮城>	114	24	21	17	38	4	10
		合計	501	96	111	72	145	21	56
		1大会平均	125	24	28	18	36	5	14
		前年平均	143	21	27	77		7	22
		前年対比	88%	114%	103%	70%		75%	64%

※渋滞緩和対策のため、2017年より最大定員を設定し、台数制限を行っている。

※2018年より、技量格差是正のため、ナショナルクラスをNAとNBに2分化した。

3. 代表選手派遣事業

1) モトクロス・オブ・ナーションズ（国別対抗世界選手権）

モトクロス委員会にて選手の選抜を行い以下日本代表チームが参戦

開催日：2018年10月6日～7日 開催国：Red Bud(USA)

日本代表チーム（富田俊樹 古賀太基 横山遥希）

順位：22位（B決勝3位）

2) トライアル・デ・ナシオン（国別対抗世界選手権）

・トライアル委員会にて選手の選抜を行い日本代表チームを派遣

開催日：2018年9月22日～23日 開催国：ソココフ（チェコ共和国）

日本代表チーム（藤波貴久選手、小川友幸選手、黒山健一選手）

順位：ワールドクラス 4位

3) アジア・カップ・オブ・ロードレーシング（アジア国別対抗戦）

	車両	開催日	開催国	参加国	台数	順位
第1戦	Yamaha 125cc Scooter	10月5～7日	台湾	6	12	1
第2戦	Yamaha Exciter 150	11月3、4日	タイ	6	14	2
第3戦	Suzuki Gixxer 150	11月17、18日	インド	5	10	5

各国主催者の準備車両数が減少したため、参加国数が6か国に制限された。またタイ、インド大会については参加ライダーの最大年齢制限が規定された。

●2018年総合順位

- 1位 日本、2位 タイ、3位 インド、4位 フィリピン、5位 スリランカ、6位 オーストラリア、7位 台湾、
8位 ネパール、9位 韓国

4. 2018Moto Awards(全日本選手権ランキング表彰式典)

全日本ランキング表彰式典を平成30年12月15日（土）に東京・大手町の日経ホールにて開催。

- 1.全日本選手権各カテゴリーのランキング上位3名の表彰
- 2.世界選手権・アジア選手権等で優秀な成績を収めた者への特別賞
- 3.MFJアカデミー・東北復興応援ツーリング・ジムカーナ等の表彰等

5. 2018年MFJモーターサイクルスポーツ殿堂

数回の準備委員会を経て9月に「MFJモーターサイクルスポーツ殿堂評議会」を以下の構成で設立した

委員長 大久保 力 副委員長 森脇 南海子 委員 高桑 元 委員 坪内 隆直

最初の殿堂入りライダー2名を選出し2018Moto Awardsにて顕彰式を行った。

第1回MFJモーターサイクルスポーツ殿堂 顕彰者

高橋 国光 1961年世界GP西ドイツグランプリ 250ccクラスで日本人として初優勝

伊藤 光夫 1963年世界GPマン島TTレース 50ccクラスで日本人として初優勝

Ⅲ. 補助金事業

1. (公財) JKAオートレース

1) 国内競技規則書(12月発行平成31年版) 交付申請額: 7,897,000円

交付確定額: 2,297,000円

2) 2018MFJ東北復興応援ツーリング

交付申請額: 4,172,000円

審査の結果採用されず。

2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

2018年度ドーピングコントロール

交付申請額: 3,776,000円

交付確定額: 2,097,000円

※スポーツ振興センターの補助金監査にて書類保管について指導があり、今後は正する。

Ⅳ. モーターサイクルスポーツの普及振興

1. 普及強化事業

1) MFJロードレースアカデミー in Motegi (13年目)

主催: (一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場: 栃木県・ツインリンクもてぎ 期間: 2018年4月～9月

内容: ・会期は年間8回(10日間)

- ・年間参加（18歳以下）=17名（昨年9名）
- ・スポット参加（年齢問わず）：13名（昨年30名）。

年間講師：校長:坂田和人 インストラクター：小林龍太、武田雄一、小山知良、水野涼

協力インストラクター：青山博一、清成 龍一、 関口太郎、大久保光、

協賛企業：本田技研工業（株）、（株）モビリティランド、（株）プリチストーン、（株）アライヘルメット、
（株）和光ケミカル、岡田商事（株）、ホンダ開発（株）、マスプロ電工（株）、
住友ゴム工業（株）、（株）ヒョウドウプロダクツ、アールケー・ジャパン(株)、（株）デイトナ、
（有）森製作所、（一社）ゴールデンエイジアアカデミー

2) MFJレadies・ジュニアトライアルプログラム 2018

今期より従来のトライアルアカデミー（通年）から全国展開するスクール（6回）に変更。対象を女性と年少者を中心とした。

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：関東（白井トライアル場）近畿（亀岡トライアル場）

主任講師：西村 亜弥

開催日程

- ①7月8日（白井）②7月28日・29日（亀岡）
- ③8月26日（亀岡）④10月27日・28日（白井）
- 全23名参加 内新規参加者14名
初級クラス 6名 中上級クラス17名 年齢12歳～71歳
当スクールより全日本レadiesクラスへの参加2名（2位表彰台1名獲得）

3) MFJ親子バイク祭り(8年目)

- ① 3月23日(金)～25日(日)
東京モーターサイクルショー 体験試乗会 406名
- ② 4月22日(日)
モーターファンフェスタ FISCO 体験試乗会 128名
- ③ 7月1日(日)
全日本ロードレース筑波大会 体験試乗会 22名
- ④ 8月12日
千葉北サマーフェスティバル 協賛のみ
- ⑤ 11月4日
全日本ロードレース MFJGP 鈴鹿 体験試乗会（雨天中止）

4) MFJ東北復興応援ツーリング 2018(4年目)

東北復興の応援を目的とする標記ツーリングイベントを試験的に開催した。

- 目的：東北の被災した東北沿岸部を訪れ、人と触れ合い消費行動をすることで復興の一助となること
- ツーリング期間：2018年8月1日～8月31日 ・対象地域：岩手・宮城・福島
今期はBLF岩手・一関開催を記念してNEXCO東日本が8月1ヵ月間、東北地区を対象に定額割引を実施いただいた。
- 登録者:436名（ROOTEE無料登録）2017年380名
- 期間内の主なイベントの来場者

バイククラブフォーラムとの合同イベント：復興応援大使:風間深志/吉野復興大臣来臨/FIM ツーリング委員視察		
8月4日(土)	岩手県・一関市 一関総合体育館(ユードーム) キックオフミーティング	200名
	岩手県・一関市・道の駅平泉	80名
	岩手県・陸前高田市・アバセたかた	60名
ダンロップツーリングステーション：復興応援大使:風間深志/FIM ツーリング委員視察		
8月5日(日)	福島県・双葉郡・二つ沼総合公園	200名
スポーツランド SUGO：復興応援大使：平 忠彦、土井復興副大臣来臨		
8月11日(土)	宮城県・村田町	146名
大船渡市初さんまうにアビ帆立かきホヤわかめ祭り		
8月26日(日)	福島県・大船渡市・蛸の浦	40名
期間中の協力イベント・立ち寄りポイントを含む来場者数		726名

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

公認：国際モーターサイクリズム連盟（FIM） FIM Ride Green 連携事業

後援：観光庁、復興庁、宮城県、岩手県、福島県、青森県、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、一般社団法人全国二輪車用品連合会、全国オートバイ協同組合連合会等

5) モト・ジムカーナ

ジムカーナ統轄団体（JAGE）と共催でジムカーナ競技を承認競技として開催、将来的な種目化を目指す試験的開催、参加者の好評を得ることが出来た。

①開催日：2018年4月29日(日) 場所：ツインリンクもてぎ マルチコース

参加：90名

②開催日：2018年11月18日(日) 場所：岡山国際サーキット ミニコース

参加：84名

2. 安全・環境・健康に関する活動

1) ドーピングコントロール

①ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	6月17日	SUGO	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	6月10日	HSR九州	MFJ事業	4
トライアル	全日本	10月8日	キョウセイ	MFJ事業	4

②全日本エンデューロ第4戦 SUGO 大会時に日本アンチドーピング機構より講師を招き選手へのアンチドーピング研修会を実施

実施日：2018年11月23日(金) 場所:スポーツランド SUGO 受講：39名

2) サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスキル・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

3) インストラクターセミナー開催

2019年1月26日 MFJ 会議室にて開催。受講者6名

4) セーフティオフィサー・レースアドバイザーの派遣

全日本選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドするオフィサー2名を派遣

- ・ ロードレースは「セーフティオフィサー」モトクロスは「レースアドバイザー」
- ・ 競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行

5) メディカル部会活動

- ・ 脳震盪判断基準と発生時のプロトコルを、各大会主催者に配布
- ・ 全日本ロードレースのライダーブリーフィングにて脳震盪への認識を高める為説明を継続実施
- ・ 全種目で負傷者申し送り制度・メディカルパスポート制度を実施

6) モトクロス安全対策

- ・ 選手に対する安全意識とマナー向上の指導、サーキットに対するコース安全性のチェックと改善指導、適正な運営に対する助言を主眼とし、元国際 A 級ファクトリー経験のあるライダー 2 名を全戦に派遣。
- ・ 違反行為や事故発生時の検証補助、さらに選手への違反・危険行為防止効果を目的とし、映像を撮影

7) 観客安全対策

- ・ モトクロス競技安全対策の指針に基づき観客安全対策を各主催者に啓蒙・
- ・ エンデューロ主催者にコースステープの安価供給継続
- ・ スノーモビル観客安全対策マニュアルを作成主催者に徹底

8) 安全装備の研究

- ・ 競技用装備部会にてエアバッグ式プロテクション義務化に向け検討
- ・ レーシングスーツのプロテクションの規格化の為、日本車両検査協会でサンプル試験を実施

9) セーフティ委員会活動

- ・ 重大事故発生時の報告から再発防止対策を検討。
- ・ サーキット公認規則の改定・査察の実施

3. 情報発信活動

1) オフィシャルホームページ

- 全日本ロードレースおよび全日本モトクロスオフィシャルファンサイトとの情報連携。
- 全日本トライアルのライダー紹介、全日本スーパーモト、全日本エンデューロプロモーションサイトとの相互リンクによる情報提供。
- ネットワークショップ検索システムによる地域サポート窓口店舗情報提供。
- 競技会カレンダー検索を毎週更新、主要競技の結果速報・レポート・写真を掲載。
- 2018 年 4 月 1 日より 2019 年 3 月 31 日までに、**2,923,246PV** / 月平均 **243,587PV** (昨年 277,686PV) のアクセスを得た。
- Facebook により迅速な情報発信

2) 競技規則書を 26000 冊作成し競技会員並びに関係者に配布した。

3) メールでの情報発信をライセンス会員向けに月 1 回配信。

4) 2018 年 3 月の大阪/東京モーターサイクルショーで MFJ ブースを設け PR 活動を実施予定

5) フリーペーパー「ライディングリミテッド」を年間 1 回発行。17,000 部作成し、7 月に開催される各種目の日本選手権シリーズをはじめとする主要競技会会場にて観客向けに配布し、後半戦の集客増員を図った。

6) ポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）作成、ネットワークショップを中心に広く配布

7) 広報部会

定期的に会合を行い、メディア向け主要競技会ごとに 2 回づつ告知依頼と取材依頼のプレスリリース発信。また必要に応じて記者発表会等開催（今期は 5 月に東北復興応援ツーリングの記者懇談会開催）

8) プロモーション事業

以下項目について（有）クライムと業務委託契約を結び活動を実施。

- (1) 映像製作/露出 (GMP 社)
- ① 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録し BS12 にてダイジェスト放映
(毎月末金曜 21:30~22:00)
 - ② Web 動画配信「Web ロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロードのライブ動画配信 (配信後アーカイブ) 全日本モトクロス MFJGP を試験配信 ※ロードは収録カメラ 5 台 + 監視カメラ映像
 - ③ 無料インターネット TV (Abema Fresh TV) にて放映(スマホ視聴可)
 - ・ アジア向けに日本文化やスポーツを紹介する「Waku Waku Japan」にてアジア 7 国で放映
 - ④ 無料動画サイト「GYAO!」にて配信(約 1 か月後)以後アーカイブ
 - ⑤ BS11 での告知
BS11 のオートバイ番組「モトライズ」内で 2 分間のイベント告知コーナーを設け全日本トライアルの映像とともに全日本ロードレース・モトクロスの開催告知を行う (7 回)。毎週金曜 22:30~23:00
- (2) オフィシャルホームページ等広報 (YUP 社)
- ① 専用ホームページ「Superbike.jp」にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※ 3 月~11 月の訪問者数 1,495,041 件 (昨年 1,928,038 件 3 月~11 月) と中止大会の影響もあり減少。
 - ② 2018 年 3 月東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権 P R の為、モーターサイクルスポーツ P R コーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示、中央ステージでのライダートークショーを開催
 - ③ シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作
- (3) ファンクラブの運営 (ライディングハート社)
- 全日本ロードレース選手権オフィシャルファンクラブ「Superbike Supprtters」会員を募集し、346 名が登録 (昨年 305 名)
- (4) MFJ 会員へのメリット供与
- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
バイクプロス (バイク用品ネット通販)、キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide
- (5) クライムは受託事業を推進するため下部に共同事業体を組織し MFJ 事業の告知に協力する。
- 名称: MFJ マーケティング
構成: モーターマガジン社、クレタ、オフィスとらくしゅん、三栄書房、バイクプロス、造形社、エアタイム、自然山通信、共同印刷

V. 地方組織

1. 加盟団体運営

- 1) 各加盟団体理事会 (6 月~7 月) に出席し進捗確認
- 2) 12 月 20 日に加盟団体会議を開催し 2019 年度に向けた方針を説明

2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟は 81 店舗 (昨年 80 店)

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り (3月31日最終)

地区	会員数	大会数		全日本選手権						N ショップ*	
		公認	承認	RD	MX	TR	SN	SM	ED		
北海道	919	40	2	0	0	1	3		1	5	
東北	1,439	56	23	1	3	1	1	2	1	8	
関東	6,741	90	27	3	1	1	1	2	0	24	
中部	2,529	73	23	2	0	1	0	1	1	9	
近畿	2,559	34	3	0	1	1	0	1	0	18	
中国	1,062	53	5	1	2	1	0	1	1	9	
四国	396	19	0	0	0	0	0	0	0	4	
九州	1,379	59	5	2	1	1	0	1	0	4	
全体	合計	17,024	424	88	9	8	7	5	8	4	81
	前年	17,456	473	84	9	9	7	5	9	4	80
	前年比	98%	90%	105%	100%	89%	100%	100%	89%	100%	101%

VI. 国際交流

世界及びアジアの一員としてのMFJの役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクルスポーツの活性化を推進した。

- 4月
 - ・アジア選手権プロモーターによる全日本ロードレース第1戦鈴鹿大会視察並びにアジア選手権打ち合わせのため事務局員を派遣
 - ・アジアロードレース選手権第2戦オーストラリア大会に事務局員を派遣
 - ・FIM環境スチュワードセミナーをMFJにて主催(参加者14名)
 - ・タイ協会会長によるジムカーナ視察のためツインリンクもてぎに事務局員を派遣
- 5月
 - ・FIMトライアル競技役員セミナーをツインリンクもてぎで開催
 - ・世界選手権トライアル及び大会翌日のFIMウィメンズトライアルトレーニングキャンプ(参加者6名)に事務局員を派遣
- 6月
 - ・アジアロードレース選手権第3戦鈴鹿大会に事務局員を派遣
- 7月
 - ・鈴鹿8時間耐久に事務局員を派遣
- 8月
 - ・アジアロードレース選手権第4戦インド大会に事務局員を派遣
- 10月
 - ・アジア国別対抗ロードレース第1戦台湾大会に日本チームを派遣 参加6か国 1位
 - ・アジアロードレース選手権第5戦インドネシア大会に事務局員を派遣
 - ・世界選手権グランプリ ツインリンクもてぎ大会に事務局員を派遣
 - ・FIM会長並びにCEOによるメーカー表敬訪問に事務局員が同行 23日ヤマハ 24日カワサキ
- 11月
 - ・アジア国別対抗ロードレース第2戦タイ大会に日本チームを派遣 参加6か国 2位
 - ・アジア国別対抗ロードレース第3戦インド大会に日本チームを派遣 参加5か国 5位
 - ・FIM総会並びに表彰式に会長及び事務局員を派遣
- 2019年
 - 1月
 - ・FIM公認車両インスペクション立ち会い
 - 2月
 - ・FIMスーパーライセンスセミナー及び春季ジュネーブ会議に事務局員を派遣
 - 3月
 - ・FIMコース査察(鈴鹿)立ち会い
 - 3月
 - ・FIMロードレースセミナーを3月9日に鈴鹿で開催

Ⅶ. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。(03月31日)

種目	区分※	事故通知				保険請求			
		A1	C	B	計	A1	C	B	計
ロードレース	国際		24		24		21		21
	国内	1	34		35		30		30
	フレッシュマン		13		13		17		17
	ジュニア	1			1	1			1
	計	2	71	0	73	1	68	0	69
モトクロス	国際A級		8		8		9		9
	国際B級		7		7		7		7
	国内A級		14		14		14		14
	国内B級	1	18		19	1	16		17
	ジュニア	15			15	15			15
	P C	1			1	1			1
	計	17	47	0	64	17	46	0	63
トライアル	国際A級		7		7		4		4
	国際B級		5		5		4		4
	国内A級		4		4		5		5
	国内B級		2		2		1		1
	ジュニア				0				0
	計	0	18	0	18	0	14	0	14
スノーモビル	A級				0		2		2
	B級		1		1				0
	ジュニア				0				0
	計	0	1	0	1	0	2	0	2
インデューロ*	国際A級				0				0
	国際B級		3		3		3		3
	国内A級		1		1		1		1
	国内B級		3		3				0
	国内				0		3		3
	計	0	7	0	7	0	7	0	7
スーパーモト	A級		3		3		3		3
	B級		1		1				0
	計	0	4	0	4	0	3	0	3
ピットクルー			2		2		2		2
エンジョイ			18	1	19		10	1	11
競技役員			2		2		2		2
2018年度		19	170	1	190	18	154	1	173
2017年度		16	194	3	213	14	167	3	184
前年比 (四捨五入)		119%	88%	33%	89%	129%	92%	33%	94%

※スポーツ安全保険の加入区分 A1・・・中学生以下、C・・・中学卒業以上～65歳未満、B・・・65歳以上

*インデューロの区分について・・・2017年度までは国内・国際の2クラス編成

2018年度より国際A級、国際B級、国内A級、国内B級の4クラス編成

Ⅷ. 諸会議の開催

諸会議					
4月	24日	第1回 技術委員会	11月	12日	第2回 ロードレース委員会
5月	24日	第1回 運営財務委員会		13日	第2回 モトクロス委員会
6月	1日	第1回 理事会		15日	第1回 トライアル委員会
	12日	第2回 技術委員会		20日	第2回 スーパーモト委員会
	15日	第1回 評議員会		27日	第5回 技術委員会
	27日	第1回 競技用装備部会		29日	第2回 インデューロ委員会
	28日	モトクロス作業部会	12月	6日	第2回 運営財務委員会
7月	9日	第1回 ロードレース委員会		11日	第2回 中央スポーツ委員会
	10日	第1回 広報部会		14日	第2回 理事会
	17日	第1回 スーパーモト委員会		20日	第1回 加盟団体会長・事務局長会議
	19日	第1回 モトクロス委員会	1月	23日	加盟団体実務者会議
8月	1日	モトクロス作業部会		24日	モトクロス作業部会
	2日	第1回 中央スポーツ委員会		29日	第2回 殿堂評議会
	21日	第1回 スノーモビル委員会		30日	第2回 広報部会
	22日	ロードレース作業部会	2月	4日	第2回 競技用装備部会
	24日	モトクロス地方選手権対策会議		5日	トライアル作業部会
	27日	タイヤ部会		7日	第6回 技術委員会
9月	4日	ロードレース作業部会（運営）		8日	ロードレース作業部会（PR）
	19日	競技用装備作業部会		11日	第1回 メディカル部会
	21日	第1回 殿堂評議会		26日	第3回 広報部会
	26日	第3回 技術委員会		28日	第2回 トライアル委員会
10月	9日	ロードレース作業部会（運営）	3月	1日	第3回 運営財務委員会
	12日	トライアル作業部会		7日	第3回 理事会
	25日	ロードレース作業部会（クラス構成）		20日	競技用装備作業部会（レーシングスーツ）
	30日	第4回 技術委員会		28日	第2回 評議員会

Ⅸ. その他の事業

1. 競技会申請のWEB化
 - ・ 競技会報告システムの第2フェーズに着手（ポイント集計・開催データ集計）※実用は2019年より
2. 競技運営セミナーの開催
 - ・ 競技を円滑に運営する為、全国の主催者より競技監督・車検長等主要オフィシャルを集めセミナーを開催
 - ロードレース：2019年2月23日 東京 印刷会館 出席88名（受講者73名）
 - モトクロス：2019年3月2日（土） 大阪 JEC研修センター 出席34名（受講者27名）
 - 3月3日（日） スポーツランドSUGO 出席33名（受講者26名）

以上

■ 2018 年度事業報告 附属明細書

2018 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。